

市立幼稚園の3年保育の実施と 適正配置についての提言（案）について

教育部総務課

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、市立幼稚園は段階的に保育料が値上げされ、平成30年度には私立幼稚園とほぼ同額になることが決定しています。

教育委員会では、本年2月に「伊勢崎市就学前教育・保育のあり方に関する基本方針検討委員会」を設置し、今後の市立幼稚園の在り方を含む3つの懸案事項について検討を始めました。今月12日に開催された第3回の当該検討委員会において、1つ目の提言案が示されましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1 提言案 《提言1》市立幼稚園の3年保育の実施と適正配置について

(1) モデル園での3年保育の先行実施（平成29年度）

- ・3園程度をモデル園に指定して3年保育を試行的に先行実施し、その必要性や効果を検証する必要がある。

(2) 他園への3年保育の拡充（平成30年度以降）

- ・試行的に先行実施したモデル園での就園状況や成果、地域的な就園ニーズ等を十分検証し、他園に拡充するかを判断する必要がある。

(3) 適正配置の検討、実施（平成30年度以降）

- ・園児数が少なく、自主性や社会性を育むことが困難な園については、適正な教育環境を提供できるよう統廃合を検討、実施する必要がある。

2 検討経過 (1) 検討委員会

- ・平成28年2月19日（金）：第1回検討委員会
- ・平成28年3月29日（火）：第2回検討委員会
- ・平成28年7月12日（火）：第3回検討委員会

(2) 市民参加

◇就園状況・就園ニーズ等に関する保護者アンケート（郵便）

- ・期 間：平成28年5月21日（土）～6月5日（日）
- ・対象者：0、1、2歳児を持つ保護者2,000人

◇パブリックコメント手続き

- ・期 間：平成28年8月16日（火）～9月15日（木）